

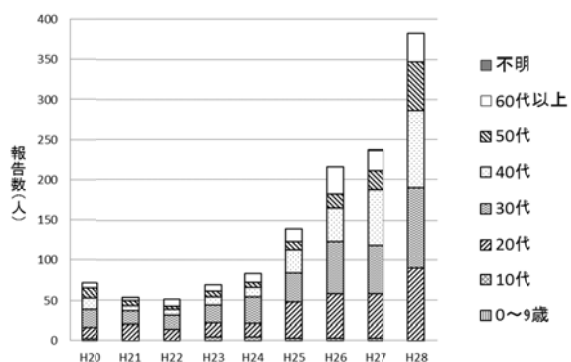
医師職（公衆衛生） 平成29年9月13日実施
論文考査の問題

近年、性感染症の一つである「梅毒」が大阪府内のみならず、全国的に増加している。

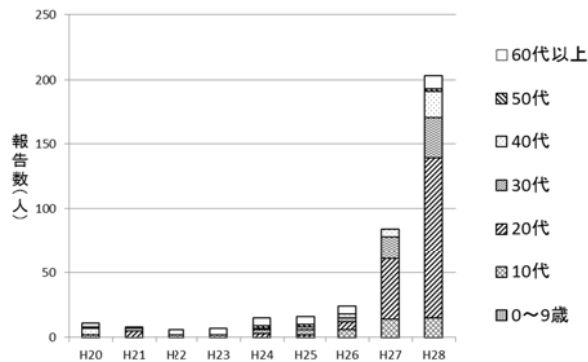
梅毒は、過去には大流行し、恐れられていた病気であったが、現在は、早期に治療すれば治る病気である。しかし、感染していることに気付かず放置していると、髄膜炎、進行性まひ、認知症等、重大な障がいをも引き起こすことがある。また、梅毒に感染していると、HIV感染症などの他の性感染症にも感染しやすくなる。

以上のことを踏まえ、梅毒の予防及び感染拡大を防止するために、大阪府としてどのような取組みが必要か、資料1から5を参考とし、課題を挙げた上で、課題解決に向けた具体的な取組みを提案しなさい。また、提案した取組みを進める上で、府、市町村、関係機関等が果たすべき役割について、あなたの考えを述べなさい。

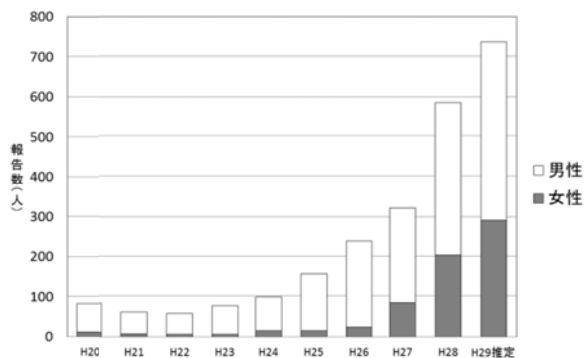
資料1 大阪府梅毒患者 年代別報告数の推移(男性)



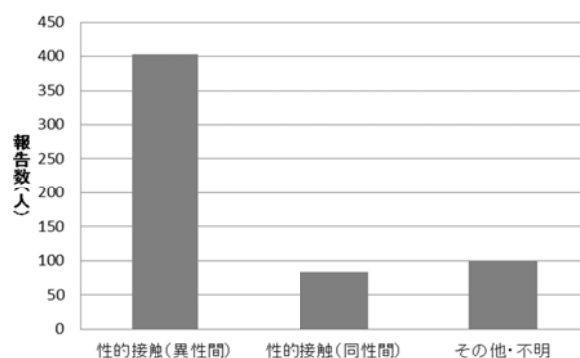
資料2 大阪府梅毒患者 年代別報告数の推移(女性)



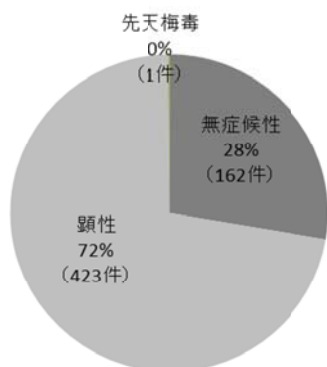
資料3 大阪府梅毒患者 男女別報告数の推移



資料4 大阪府梅毒患者 感染経路(平成28年)



資料5 大阪府梅毒患者 病型比率(平成28年)



出典: 全資料ともに保健所設置市を含む府内全域/NESID※より大阪府集計
※NESID(感染症サーベイランスシステム)とは、感染症を診断した医療機関からの発生報告を一元的に効率よく情報解析するために、地方自治体と国の行政機関を結ぶ情報システムのこと。